

必修例題 1 和差算・分配算・やりとり算

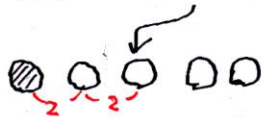
- (1) 5個の連続した奇数の和が135であるとき、5個の中でもっとも小さい数はいくつですか。
 (2) 兄は460円、弟は330円持っていました。2人が同じ金額を出し合って本を1冊買ったところ、兄の残りのお金が弟の3倍より10円多くなりました。本の値段は何円ですか。
 (3) A、B、Cの3人が動物園に行きました。Aは3人分の交通費、Bは入園料を、Cは昼食代を払いました。昼食代は、交通費と入園料の合計と同じです。AがCに600円、BがCに450円払うと、3人が払った金額が同じになります。1人分の入園料は何円ですか。

(1)

連続する奇数の和の平均は
 まん中の数になります。

例えは $1+3+5=9$ のとき
 $9 \div 3 = 3$ となり、
 $3-2=1$ $3+2=5$ となります。

5個の奇数のまん中の数は
 $135 \div 5 = 27$

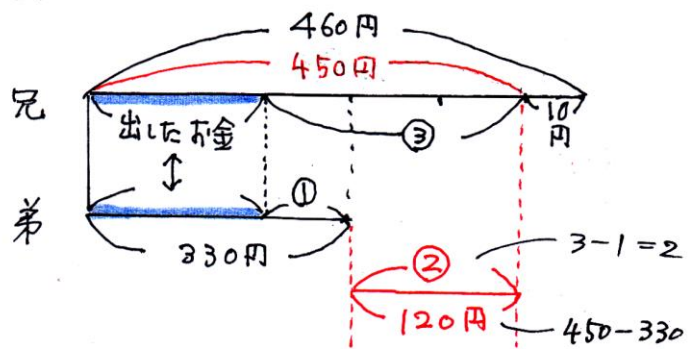


もっとも小さい数は
 $27 - 2 \times 2 = 23$ です。

23

(2)

2人が同じ金額を出し合っているのを、出した金額を左にそろえて線分図を書きます。



上の図で ② が 120円に $120 \div 2 = 60$ 円
 ① は 60円

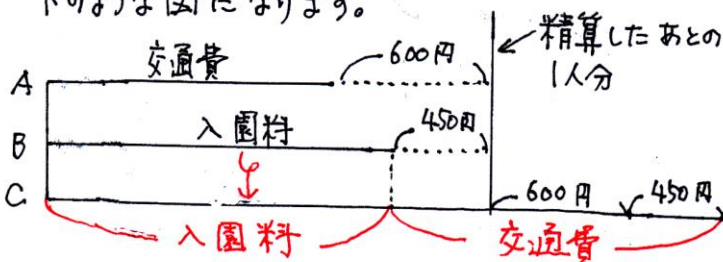
弟の図から、弟が出した金額は
 $330 - 60 = 270$ (円)

本の値段は $270 \times 2 = 540$ (円) 540円

(3)

「AがCに600円、BがCに450円…」

支払った金額は 少ない順 $A < B < C$ ですから
 下のおよな図になります。



交通費は

$450 + 600 + 450 = 1500$ (円)

• Aの図より1人分の金額は
 $1500 \div 3 = 500$ (円)

• Bの図より1人分の入園料は
 $(500 - 450) \div 2 = 25$ (円)

550円